

ニテニカ運用ヲ適切ナラシメ以テ輸送能率ヲ向上シ島内輸送  
向滞化ヲ圖リトニカ為左ノ如ク處置スルヲ可トス  
一 軍ニ於テ輸送司令部ヲ設置シ通収ヲ適處ニ配置シテ輸送  
諸機關ヲ統一運送ス

輸送区間ヲ幹線輸送ト局地輸送トニ分シ局地輸送ハ各正通  
ニ設置スル一節ヲ輸送力ヲ以テ實施セシム

海上輸送ハ輸送司令部ニ於テ陸上輸送ト調和シテ實施ス  
地方輸送力ヲ軍ニ於テ統制使用スルニテ地方輸送ニ影響ヲ所  
大ナル以下地方側ヨリ所要機關ヲ生サシメ輸送司令部ニ於テ軍

輸送運送線ニ於テ地方荷物輸送ヲ統制實施セシム

一 縣ニ於テ實施中道路改修ニ事ハ極地的ニ急進ニ實施シ輸送  
ニ支障ナラシムル如ク指導ス 現下道路ニ事ハ狹隘地ニハ順次

振南ニシテハ可ナル設備ノ場所ニ完充セサルヲ以テ西海岸道沿曲  
時等通過困難ニシテ輸送能率向上ニ至大ノ影響ヲ及ス收能率  
三兵力配備ノ變更ハ諸物資輸送ヲ極度ニ頻繁テラレルヲ以  
テ概テ固定スル迄不急ノ物資輸送ヲ延期スルニト

備

五、昭和二十二年三月二十三日敵機動部隊空襲引續、翌年四月日艦  
砲射撃ヲ受ルニ至リ、海上輸送及其他輸送ハ不可能ト  
ナリタルヲ以テ一時之ヲ中止シ、海上輸送隊及各重要輸送所ヲ撤去  
シ、部隊主力ハ位置集結ヲ命ジ、ト共ニ戰鬥果敢ハ物資輸送  
補給ニ重点ヲ指向シ、併テ陣地強化ニ全力ヲ集中セリ  
六、屢次ニ海兵力配置ノ変更ハ必然的輸送ヲ轉接ニ致サズ  
テ陣地構築ヲ著シク阻害スルニ至リ

七、昭和十九年八月陸直後、師団各部隊配置別紙主、如シ  
昭和十九年十一月武部隊轉生に伴フ、師団各部隊配置別紙中  
ニ也

昭和二十二年八月配置變更ニ依リ、師団各部隊配置別紙  
中ニ如シ

作戦準備期ニ於テ主要輸送地域別紙並也、也

第三作戦準備

其一築城

八月二十日陸上共ニ百里市平良所北側地ニ防禦陣地構  
築ヲ命ゼラレタリ當時第九師團下ノ協定不調ニシテ上ノ第九中  
旬宜野鴻村南原下原陣地ヲ交換シ輸送ノ傍ラ地方供出勞  
務者ヲ以下洞窟陣地ノ構築ヲ開始セリ  
十日未概不完或ノ域ニ達シタモ第九師團ノ轉送に伴フ配備  
変更ニ因リ下原陣地ヲ予備陣地トシテ原有シ新赤田附近陣  
地ヲ交換構築スルニ命ゼリ十二月中旬作業隊ヲ編成シ長寛  
信夫中尉シ赤田及終塚ニ派遣シ陣地ノ構築ニ着手セリ  
十二日未日部隊主力ヲ普天間ヲリ終塚及赤田ニ移駐セシメリ  
昭和二十二年月中旬概テ自動車庫脂油庫燃料庫修繕工場

人馬生想所ヲ堅固ナル洞窟トシテ完成シ爾後地上戰鬥陣地構  
築ヲ開始ス

昭和三年三月二十三日敵機動部隊ノ未襲時ニ於テ陣地ノ強度  
別紙第五第六第七ノ如ク戰鬥陣地ハ各火突ニ對シテ輕機重  
ヲ施シテ程度ニシテ指揮連絡ノ為テハハコキ陣内交通設備ハ  
工事開始ニ至ラレテ以テ急據之ヲ開設ス努メテ一方戰線方面輸送  
補給ノ激増シ陣内落達ニ砲彈彈丸燄烈ニシテ既設陣地修復  
ヲ要スルモノ頻出スルニ交リ防衛區集者ノ活動ハ著シク波沈帶ニテ  
武果拳ヲス陣地設備ハ薄クトシテ進揚セズ戰鬥開始時ニ於テ  
連絡設備尚ホ主要ナル部分ニテ露天壕ヲ設テタルニ過キス  
對戰車障礙ハ一部着手シタルニ大部ハ未着手ノ儘戰鬥スル  
又昭和三年三月ノ濃波警戒隊ヲ當部隊陣地最重要部構設

セラルル為テ防禦陣地ノ起要部ニ致命的缺陷ヲ形成スルニシ  
然レテ電探施設ヲ有シタル當陣地ハ三月二十四日以降連續スル  
敵砲艦砲ノ猛射及暴撃ヲ受テ陣内諸施設被壞セルモノ  
續出シ有線通信ノ如クハ寸斷セラレテ其ノ要ヲナサレテ至リ斯ク  
如ク晝夜ノ別ナラズ長期ニ亘ル連續猛射ハ既設陣地強度  
保持ヲ至難トラシメ敵ノ近接時ニ在リテハ既ニ山形地相共ニ變  
シ戰鬥ノ為メ諸施設各々使用レ得ルモノナリ  
急造野戰陣地構築依リ辛クシテ戰鬥ヲ實施スルヲ得ナリ

### 其二 教育

沖繩本島上陸後ノ教育ノ輸送業務ノ繁激ニ加ヒ陣地構築  
關係上殆ド秩序ニシテ計畫教育ハ不可能トナリ至リテ協會

ヲ提テ戰斗教練ノ訓練ヲ實施スル外將校下士官ノ集合教育ヲ實施セリ

而シテ島嶼防衛ノ特質ニ基キ防衛戰斗要領ヲ現地ニ即チ實施的ニ教育シテ戰車機銃戰斗及挺進奇襲攻撃ニ重寶ヲ指向ス

十月八隊現地初年兵ハ初隊ニテ集合教育ヲ施シ第一期兵ハ特ニ精神要素ヲ涵養シ各個戰斗專ラ重寶ヲ置キ二期ニ於テ部隊戰斗教練ヲ主トシテ實施セリ

三月八隊初年兵ニ對シテ狀況ノ緊迫ニ伴ヒ精神教育及戰斗各個教練ニ併シテ初ハ分隊戰斗要領ヲ加味シ四月戰斗支障ナクシテ著意ノ新集合教育ヲ實施セリ

十月及三月八隊現地初年兵ニ對シテ輕重本來ノ教育ハ第一第二

教育ノ成果ニ依リ第三期以後ニ於テ實施スル如ク指導セリ

### 其ノ三 兵器

個人支給兵器ハ九九式小銃ヲ以テ概ネ充足セシメ十月八隊初年兵ハ初ハ帶劍ノミニシテ小銃ヲ支給スルト能ハル現況ナリ

三月八隊初年兵ニ對シテ三月二十日頃ニ至リ漸ク帶劍ノミヲ支給シ小銃ハ其ノ一部ヲ支給シタルニ過ラズ

部隊裝備兵器トシテ擲彈筒四ノ支給ヲ受テアリ

別ニ支隊線ヨリ部隊兵ニテ独斷擲行セシ左記兵器ヲ有ス是對戰車兵器皆無シテ陣地構築用爆薬ヲ利用スル急造爆雷ヲ自製セシ信管ハ既賞獲シテ其大別ハ應用信管又ハ手擲彈ヲ使用シテ其ノ數爆雷ヲ保持セリ

左記

迫撃砲	5	彈藥一門二付	二六〇
式輕機銃	八		四〇〇
重機銃	一		八〇〇
擲彈筒	二		一〇〇

其の四 經理

經理一般の取組方針は其の基として師團の指示に因り実施せり  
 被服中常用被服の程度著しく不良にして補修の努力を怠り  
 補修材料缺乏の甚だしい状態に於て維持困難を生ずる状態にあり  
 戦用被服の概不新造を以て各一裝保有を以て糧秣の主食  
 減量に依り戦用として貯蔵を命ぜられ概不四月分を格納保

有せり然し兵員日常の給養に依り下でシテト能ハサルヲ以テ之ヲ調  
 達集得ニテ大ナル苦勞ハヲ拂ヒ辛クシテ代用食等ヲ調和シ兵員ノ  
 体力保持ニ支障ナカラシメタリ

現地物資の調達に際し防衛地は之に担任すべく部隊ノシテハ極大  
 困難にシテ常ニ防衛担任部隊の過剰品ヲ集收シ不足補  
 填ニ充當る状態にあり且時ニ是量ニ欠ル不足ヲ招来ス  
 下り自然給與ハ最低限度ヲ維持スルニ過マサザリキ

戦内十月迄張以來取得不可能ニシテ特ニ軍ニ於テ統制ヲ  
 ル下ニテナリテテ全取得不能ナリ且肉亦自隊更場ヲ有テ  
 爲調達不可能ニシテテラス兩者共配給皆無ニシテ兵員給  
 養次第ニ租悪化シテテ頃至リ体力栄養維持困難ナ  
 故ニ中頭郡北郊地ニ是業班ヲ常駐セシメ辛クシテ最

底給養量ヲ取得スルヲ得タリ  
現地自活ハ駐屯地内ニ移動派ノ結果ヲ收ルニ至ラズ常ニ  
栽培ヲ了シテ地別隊ニ引継ク行ハ状態ニテ給養  
ヲ補填スルニ至ラス

### 其ノ五 衛生

衛生状態ハ極テ良好ニテ其員志氣頗ル旺盛ナリ定昭  
和三年二月頃ニ至リ天候悪化ニ連日寒雨ト業務ノ繁激  
給養ノ粗悪等最悪状況ニ突入為ニ將兵ノ健康状態ニ影響  
ス所ヨリ栄養失調並ニ過勞ニ基因スル疾病漸ク多發傾向  
ヲ示シ憂慮スルモノアリ

精神要素ノ振作ト給休養ノ調和愈々之給其ノ向上意ハ如

クテラス一方清況ノ緊急ニ作業ノ進捗ヲ強要シ休養ヲ與フルノ暇ナ  
ク為ニ衛生状態ハ急轉シテ悪化セリ

三月ニ至リ気温稍ニ上昇シ中頭北ノ方面ニ於  
テ調達スル地方物資漸ク所要量ニ達シ給養ハ漸次向上志  
ムルヲ得名爲戰鬥直前ニ在リテハ將兵ノ健康状態概不良  
好ノ感ニ達セリ

戰時患者ノ收容ノ為洞窟トシテ留務室ヲ構築シ患者概  
ネ五六十名ヲ收容シ得ル程度ニ完セシメタリ

### 其ノ六 馬事

昭和十九年十二月現地馬匹ノ徴發ヲ命セラレ馱馬中隊ヲ編  
成セリ然レ此地方馬匹ハ一般ニ飼養法ノ特異ニ基因シ徴發後